ONTT

BR410 BR410VPN

バージョンアップ手順書

 ●ファームウェアバージョンアップを行う前に、本書を よくお読みのうえ、内容を理解してからバージョン アップを行ってください。



1	「セットアップツール」について	2
	1.1 概要	2
	1.2 ソフトウェアセット	3
	1.3 動作環境	3
2	セットアップツールのインストール	.4
	2.1 アンインストール	4
З	バージョンアップ	5
	3.1 ソフトウェアセットの解凍	5
	3.2 通信の確認	5
	3.3 バージョンアップ	6

1 「セットアップツール」について

1.1 概要

「セットアップツール」は、「ソフトウェアセット」を BR410/BR410VPN にダウンロードするツール です。ファームウェアをバージョンアップするときなどに使用し、BR410/BR410VPN に対する以下の 操作を自動的に行います。「fwis-v □□□.exe」のような名前の自己解凍ファイルで提供されます。

- ダウンロード済みのファームウェア、パッチ、ヘルプの削除
- ファームウェア、パッチ、ヘルプなどのダウンロード
- ファームウェア、パッチ、ヘルプなどの有効化
- BR410/BR410VPN の再起動
- ログファイルの出力 (YYMMDD_hhmmss.log)



図 1.1.1 セットアップツールの動作

1.2 ソフトウェアセット

BR410/BR410VPN にダウンロードするための、以下のファイルをセットしたものです。「br52 □□□□ .exe」のような名前の自己解凍ファイルで提供されます(□で表記した部分はバージョン、パッチに依 存します。また、リリースによっては一部のファイルが提供されないことがあります)。

- ファームウェアファイル (52-□□□.rez)
- パッチファイル (52 □□□ □□ .paz)
- ヘルプファイル (help.hlp)
- バージョンアップ情報ファイル (ar52□□□□ .ini)

最新のソフトウェアセットは、下記からダウンロードできます。

NTT 東日本 http://www.ntt-east.co.jp/ced/support/version/ NTT 西日本 http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

1.3 動作環境

セットアップツールは、日本語版の下記の OS で動作いたします。本書では、Windows 2000 Professional の場合を例にして説明します。

- Windows[®] 95, Windows 98, Windows 98 Second Edition, Windows Me
- WindowsNT[®] 4.0、Windows 2000 Professional、Windows XP

2 セットアップツールのインストール

- **1** セットアップツールの自己解凍ファイルを用意し、コンピューター上の適当な場所に置いてくだ さい。自己解凍ファイルをダブルクリックしてください。
- **2**次のダイアログボックスが現れます。解凍先のフォルダーを指定して、「OK」をクリックしてください。ここでは、解凍先として「C:¥SETUPTOOL」を仮定します。

LZH 自己解凍書庫 V2.60.w32.0038		X
インストールするフォルダ ^い (<u>D</u>):		
C:¥SETUPTOOL		参照(<u>B</u>)
■ スタートメニューに登録(<u>S</u>) ■ 関連付け(<u>A</u>)		
OK(<u>O</u>)	キャンセル(<u>C</u>)]

図 2.0.1 解凍先のフォルダーを指定

3次のようなファイルが解凍されます。

SETUPTOO	DL I						- O ×
ファイル(E)	編集(E)	表示⊙	お気に入り(A) ツール(D NIC	γ <u>(</u> Η)	
」 ← 戻る ・	⇒ - E	风検索	追フォルダ	③履歴	Ne ve	X b	.
アドレス(D) [SETUPT	OOL			•	<i>∂</i> 移動]リンク >
(fwinstexe)	md5.d	l rea	dme.txt				
3 個のオブジェク	۱۲		63	31 KB	27	コンピュータ	11.

図 2.0.2 解凍されたファイル

2.1 アンインストール

セットアップツールを解凍したフォルダーを削除してください。前述の例では、「C:¥SETUPTOOL」です。

3 バージョンアップ

3.1 ソフトウェアセットの解凍

- 1 最新のソフトウェアセットの自己解凍ファイルを用意し、コンピューター上の適当な場所に置いてください。自己解凍ファイルをダブルクリックしてください。
- 2次のダイアログボックスが現れます。解凍先のフォルダーを指定して、「OK」をクリックしてください。ここでは、解凍先としてセットアップツールと同じフォルダー「C:¥SETUPTOOL」を仮定します。

LZH 自己解凍書庫 V2.60.w32.0038		×
インストールするフォルタ ^い (<u>D</u>):		
C:¥SETUPTOOL		参照(<u>B</u>)
■ スタートメニューに登録(<u>8</u>) ■ 関連付け(<u>A</u>)		
<u>ОК(О)</u>	キャンセル(<u>C</u>)]

図 3.1.1 解凍先のフォルダーを指定

3.2 通信の確認

BR410/BR410VPN へのソフトウェアセットのダウンロードを行うためには、セットアップツールを実 行するコンピューターと、BR410/BR410VPN が IP で通信できなければなりません。通信ができない 場合は、次のようにしてコンピューターと BR410/BR410VPN が通信できるように設定してください。 以下の説明は、次のような仮定で行います。ご使用の BR410/BR410VPN に合わせて適宜設定してく ださい。

- BR410/BR410VPNのLAN側のイーサネットインターフェース「vlan1」
- BR410/BR410VPN の LAN 側 IP アドレス / サブネットマスク「192.168.10.1/255.255.255.0」
- セットアップツールを実行しているコンピューターの IP アドレス / サブネットマスク「192.168.10.100/255.255.255.0」
- 1 コンソールターミナルから BR410/BR410VPN に Manager レベルでログインし (デフォルトの ユーザー名は「manager」)、次のコマンドを実行してください。

```
manager > enable ip Enter
manager > add ip interface=vlan1
    ipaddress=192.168.10.1 mask=255.255.255.0 Enter
```

2 Windows 95/98/Meの場合は MS-DOS プロンプトから、Windows 2000、WindowsNT の場合は コマンドプロンプトから、BR410/BR410VPN に対して Ping を実行します。「Reply from 192.168.10.1」のように表示されれば通信が可能です。

C:¥> ping 192.168.10.1 Enter

3.3 バージョンアップ

重要:バージョンアップは、絶対に運用中には行わないでください。万が一、BR410/ BR410VPN 運用中に実行した場合、バージョンアップに失敗するだけでなく、BR410/ BR410VPN が起動できなくなる可能性があります。

1 「fwinst.exe」のアイコンをダブルクリックしてください。



図 3.3.1 セットアップツールの起動

2「参照」をクリックしてください。

🛲 製品の選択	×
ファームウエアのバージョンアップ	を行います。
ハーションアップ 間部 シアイアレビョン	
JPAN CHARTEN DE CONTROLLA	
次へ	終了

図 3.3.2

3 該当機種のバージョンアップ情報ファイル(ini)を選択して、「開く」をクリックしてください。 下記では、バージョンアップ情報ファイルとして「ar52233inf.ini」を選択しています。

ファイルを開く					? ×
ファイルの場所型:	SETUPTOOL		•	🗧 🔁 📑	
です 定 定 定 定 で た の プ の つ の プ の プ の つ の プ の つ の プ の プ の つ の つ つ の プ の つ つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ つ つ の つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	(≝) ar52233.ini				
WA MEMORIA	ファイル名(N):	ar52233.ini		•	RHK (O)
	ファイルの種類(工):	「情報ファイル (*.ini)		•	キャンセル

図 3.3.3 バージョンアップ情報ファイルの指定

4「次へ」をクリックしてください。

← 製品の選択 ファームウエアのバージョンフ バージョンアップ情報ファイル	× マップを行います。 を指定して下さい。
ファイル C¥SETUPTOOL¥ar	52233.ini 参照 参照
<u> </u>	

5 ダイアログボックスの内容(インストールされるバージョン)を確認し、「次へ」をクリックしてください。

🛲 インストール内容		×
この: pl.1 ? のつ 効に	ファームウエアインストーラは、ファ をインストールし、ファーム' します。	ァームウエアVer.2.3.3 ウエアのライセンスを有
ファームウエアのイン: 行しているPCと 由して通信でき	ストールを始める前に、こ0 :,ノバージョンアップ対象の製 :るように設定をしてから	Dアフツケーションを実 品がEthernetを経 お使い下さい。
戻る		キャンセル

図 3.3.5 バージョンの確認

6「IP ネットワーク」を選択し、バージョンアップの「対象機器の IP アドレス」を入力して、「OK」 をクリックしてください。^{*1}

🛲 インストール方法の選択	×
対象機器を制御する為の方法を選択して下	さい。
─制御方法	
○ シリアルホ⁰ート経由	設定
対象機器のIP7ドレス: 192.168.10.1	
戻る OK	キャンセル

図 3.3.6 BR410/BR410VPNのIP アドレスの入力

^{*1} 誤ってファームウェアを消去し、さらに電源のオフ / オンまたは「restart reboot」コマンドによ る再起動を行ってしまった場合は、「シリアルポート経由」を選択してください。ファームウェ アが存在しない状態で、BR410/BR410VPN を起動すると BootROM モードとなり、Telnet は使用 できません (tftp はサポート)。詳しくは、セットアップツールに付属の「Readme.txt」をご覧く ださい。

7 ユーザー「manager」のパスワード*2を入力し、「OK」をクリックしてください。BR410/BR410VPN がセキュリティーモードに設定されている場合、Security Officer レベルのユーザーでログインし てください。

🛲 በታイン	X
ロゲインします manager権 ロゲインしてう	- 退以上の権限を持つアカウントで さし、
ユーザ名:	manager
パネワートシ	*****
OK	++>tzu

図 3.3.7 ログイン

8 バージョンアップが開始されます。ダイアログボックスの上段に進行状況の概要、テキストボックスに詳細なログが表示されます。ログは、セットアップツールがインストールされているフォルダーに(ここでは¥SETUPTOOL)、020625_121234.logのようなファイル名で保存されます。

🛲 インストール状況	×
現在実行中のコマント	
1.ログイン	
2.古しいファームウエアファイルの削除	
3.ファームウエアファイルの転送	
4.7アームウエアの2月301日 5.2フラムの再記動	
0.7天7五07円に動力	
	A
Manager > act flash comp	
Info (1031260): Flash compacting DO NOT restart the router until compaction is	completed.
Manager >	
L	
	終了

図 3.3.8 インストール状況

重要:手順8が実行されている間は(数分かかります)、絶対にBR410/BR410VPNの電源を オフにしたり、再起動しないでください。電源のオフや再起動を実行すると、フラッシュメ モリー上のファイルシステムが破壊されることがあります(設定ファイルなどの重要なファ イルが失われます)。

^{*2} ユーザー名「manager」の初期パスワードは「friend」です。

9「ファームウェアの有効化」まで完了した時点で、BR410/BR410VPN を再起動するか否か問われますので、「はい」をクリックしてください。「いいえ」をクリックした場合、BR410/BR410VPNは再起動しません(セットアップツールを終了した後、BR410/BR410VPNの電源のオフ/オン、または restart reboot コマンドを実行してください)。

インストール	完了 🔣 🔀
•	下記ファイルの転送、及びライセンスの有効化が 完了しました。
	52-233.rez 52233-01.paz help.hlp
	最後に再起動しますか? インストールしたファームウエアは再起動後に 有効となります。「いいえ"を選択した場合には、 手動で"restart reboot"コマンドを実行して下さい。

図 3.3.9 再起動の確認

10「OK」をクリックしてください。

情報	X	
•	バージョンアップが完了しました。	
	OK	

図 3.3.10

11「終了」をクリックしてください。

- インストール状況		
現在実行中のコマンド		
1.ロゲイン		
2.古しいファームウエアファイルの削り除		
3.ファームウエアファイルの転送		
4.7ァームウエアの有効化		
 b.シスァムの再起動 		
Error (3049263): A licence already exists for this file.		
Manager > enable feature=factory pass=C80D6F40BC11BC		
Info (1049003): Operation successful.		
Manager > del inst=pref		
Info (1049003): Operation successful.		
Manager > set inst=pref rel=52-233.rez pat=52233-01.paz		
Info (1049003): Operation successful.		
Manager > r 📃 🗸		
終了 💦		

図 3.3.11 セットアップツールの終了

12「はい」をクリックしてください。



13 以上でソフトウェアのバージョンアップは終了です。BR410/BR410VPN の再起動後、ハイパー ターミナルや Telnet でログインし、SHOW SYSTEM コマンドを実行すると、Software Version の 項でソフトウェアのバージョンを確認することができます。SHOW FEATURE コマンドにより、 ライセンスが与えられている機能の一覧が表示されます(下記表示は BR410の例です)。

Manager > show system Enter			
Router System Status Board ID Bay Board Name	Time 12:00:46 Date 28-Jun-2003. Rev Serial number		
Base 195 AR410 V2	M1-0 41849368		
Memory - DRAM : 16384 kB FLASH : 7168 kB			
SysDescription CentreCOM AR410 <u>version 2.3.3-01 17-Apr-2003</u> ←現在のバージョン SysContact			
SysLocation			
SysName			
SysDistName			
SysUpTime 49540 (00:08:15) Software Version: <u>2.3.3-01 17-Apr-2003</u> ←現在のバージョン Release Version : <u>2.3.3-00 20-Jun-2002</u> ←リリースパージョン Patch Installed : Release patch Territory : japan Help File : help.hlp			

図 3.3.13 SHOW SYSTEM の表示例

商標について

Windows、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における 登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウエアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録 商標です。